

# 囲碁ボール

碁盤に見立てた人工芝の専用マットと、黒白のボール、木製スティックを使って五目並べを行うスポーツです。マットには縦横それぞれ7本の線からなる碁盤の目が描かれ、その交点の49はボールがおさまるよう、くぼみになっています。個人や団体で皆で楽しめるスポーツです。

## コート

◎マット2m×5m程度の平坦な場所

## 人員

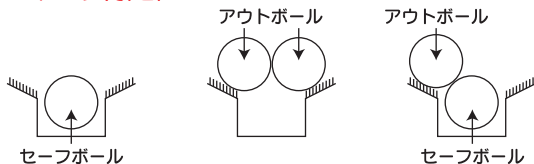
- ◎シングルス(1人対1人)
- ◎ダブルス(2人対2人)
- ◎トリプルス(3人対3人)基本的対戦方法

## 用具

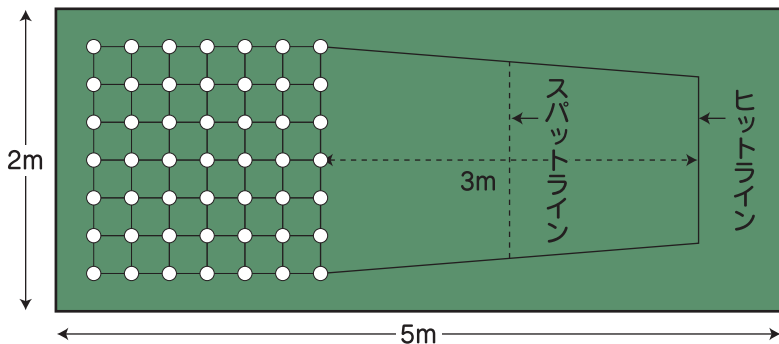
- ◎囲碁ボールマット
- ◎ボール(黒・白各10個)
- ◎スティック(木製)



## 〈ボールの判定〉



セーフボールはそのボールが目(穴)の底についておくこと





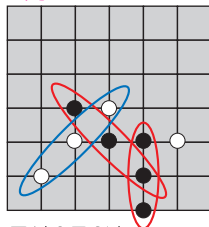
## 競技方法(主なルール)

- ① ヒットラインの前に集まり、ジャンケン等で先攻を決める。
- ② 先攻は黒ボール、後攻は白ボールを使用する。
- ③ ボールを打つ順番は、黒チームと白チームが交互に打つ。
- ④ 両チームがすべてのボール(黒・白各10個)を打ち終わることを「1局」といい、1局が終わればアウトボールを取り除き、セーフボールの得点を記録する。
- ⑤ 次の局は、前の局の得点の良いチームが先攻となる。
- ⑥ 5局の合計点で勝敗を決める。

## 〈点数のつけ方〉

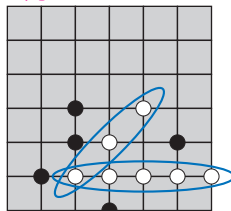
- ① ライン得点
  - ◆ 5目、4目、3目の順に、多い「目」において「連」がいくつあるか比べる。
  - ◆ 数の多い「目」があるチームが勝ち。
  - ◆ 「目」が同じ場合は、「連」の多いチームの勝ち。
- ② ポイント得点
  - ◆ ライン得点がすべて同じ場合のみ、ポイント得点の勝負となる。
  - ◆ ポイント得点の多い方が勝ち。
  - ◆ ライン得点が優先するため、ポイント得点が多くても勝ちにはならない。
- ③ ライン得点でも、ポイント得点でも同じ場合は、いずれかの局で高いポイント得点のあるチームが勝ち。

### 1局



黒は3目2連  
白は3目1連

### 2局



黒はライン得点なし  
白は5目1連と3目1連

## 〈スコアカード〉

チーム	局	目	1局	2局	3局	4局	5局	合計	勝敗
黒 A	ライン得点	5							
		4			1			1	
		3	2					2	
	ポイント得点		5	5	5	7	5	27	
白 B	ライン得点	5		1					勝
		4						1	
		3	1	1				2	
	ポイント得点		4	7	3	5	5	24	

「5目」が1連あるため、Bチームの勝ち



- スコアカードは教育委員会のホームページのスポーツ情報からダウンロードできます。